

平成 30 年 3 月 1 日
日本船主協会 企画部広報室

KOSEN FAIR in 八戸の開催
～川崎近海汽船 旅客フェリー「シルバークイーン」 船内見学会等を実施～

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、商船や造船所の見学会などを「船ってサイコ～」と題し実施し、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。

今般、川崎近海汽船および国立高等専門学校機構（広島商船高等専門学校（代表校）、八戸工業高等専門学校など）と連携し、2月24日（土）に八戸市内にて「KOSEN FAIR」と題した、川崎近海汽船「シルバークイーン」船内見学会および海運の役割・船員の仕事に関する体験型授業や勉強会等を実施し、小・中学生の親子連れなど約40名が参加しました。

最初に、「シルバークイーン」の船内（船橋・デッキ・客室など）を見学し、同船船長以下乗組員から各操作盤や船内設備等の説明がありました。その後、船内にて、同社職員から船員の仕事の説明や新造の「シルバークイーン」（本年4月就航予定）の進水式の様子を動画でみるとともに、広島商船高専職員より海運の重要性とそれを支える船員の活躍等の説明がありました。また、同高専学生より船員になろうと思ったきっかけなどの説明がありました。



船橋にて説明を受ける参加者

本船下船後は八戸プラザホテルへ移動し、子供向けには海図を使ったモノづくりや船長服での記念撮影などの体験型授業を、大人向けには海運勉強会にて、日本は「ものづくり（産業）」と「ものはこび（海運）」にて成り立っており、それを船員が支えているなどの説明をし、海運の役割・船員の仕事に対する理解促進を行いました。

当協会は引き続き会員会社と連携し、日々の暮らしを支える海運について広く知っていただくための活動を実施してまいります。



左から川崎近海汽船職員による説明・体験型授業の様子・辻広島商船高専校長による海運勉強会